

第33回

名古屋大学附属図書館友の会

トークサロン

ふみよむゆふべ

なごや「古地図で楽しむ今昔」

かたり: 溝口常俊 (名古屋大学名誉教授)

絵図をみて、地図を持って名古屋の町を歩いてみよう。名古屋をいかに語るか。東京、京都、大阪に比べて知名度が低く、素通りの大都市の感が否めない名古屋ではあるが、住めば都、小さな魅力がいっぱい詰まっている。これぞ名古屋、という観光アピールはできないが、こうした小さな魅力の場所を1つでも2つでも知っていただければ幸いである。

名古屋400年の歴史で最も華やかだった尾張徳川家七代藩主宗春の時代(1730年代)の本町通りを「享元絵巻」を見て歩いてみよう。昭和区御器所、中村区日比津、中川区下之一色、ナゴヤ球場界限なども取り上げます。

市販の地形図(5万分1か2万5千分の1)をお持ちになれば、「名古屋に開く魔法の折り紙」の折り方を伝授します。



*「享元絵巻」部分:
葛町・西小路・富士見原の遊郭

参加無料
申込不要
会員以外の方も歓迎します

2014年10月7日(火) 午後6時～

名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666
FAX 052-789-3693
E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)

名古屋大学附属図書館,
同研究開発室

